

畳メイキングキットマニュアル

2016年

森田畳店

<http://www.tatami-mat.net/>

はじめに

この度は畳メイキングキットをご購入頂きまして誠にありがとうございました。

このキットは、畳をリーズナブルに世界の皆様にお届けすることを念頭に開発いたしました。

仕組みはいたってシンプルです。

皆様は、適当な作業スペースと台、ベニヤ板、ホッチキス、手袋をご用意ください。

ベニヤ板のサイズは以下の通りです。

例えば、仕上がりサイズが幅90cm x 長さ180cmの場合、

ベニヤ板は、898mm x 1797mmにカットしてください。

幅は2ミリ、長さは3ミリ小さくします。

緩衝材(フリースなど)を挟む場合は、フリースの厚みをよく測ってから、

ベニヤ板をカットしてください。

ベニヤ板の厚みは2cmまでにしてください。

畳へりは強く引っ張ってから畳に縫い付ける事を想定していますので、

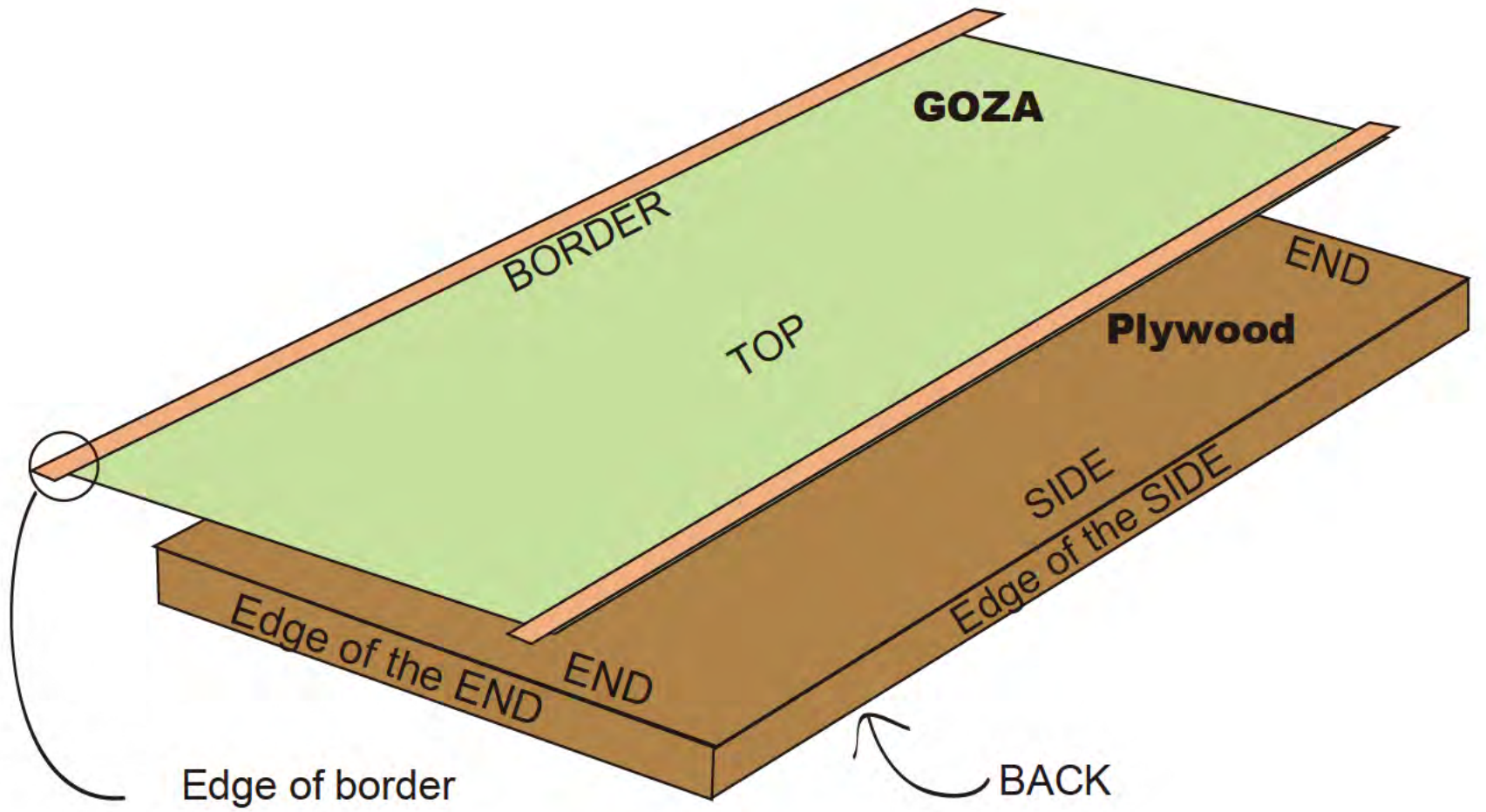
キットに使用する場合は、少しシワが出る可能性があります。

その場合は、タオルとスチームアイロンを使用してシワを伸ばしてください。

説明書にその方法が書かれています。

もし分からないことがございましたら。いつでもメールでご連絡ください。

メール: morita@tatami-mat.net



1。メイキングキット用ござ(以下ゴザ)を作業台に載せます。

2。へりを縫い付けているミシン糸を軸にして折り曲げます。



2辺のへりを折り曲げます。

3。ゴザを裏返しにします。





裏返しになりました。

4.裏返しになったゴザの上にベニヤ板を置きます。



ベニヤ板を置いたら、ベニヤ板とゴザの幅を合わせてください。
長さも、ゴザがはみ出る長さを両端で同じくらいにしてください。

5。片方のゴザをホッチキスで固定します。



ホッチキスの歯がうまく入らないときは、ハンマーで叩いてください。

6。片側をホッチキスで止めた状態で、ひっくり返してください。



7。止めていない片方のゴザを引っ張りながら、ベニヤ板の側面にホッチキスを打ちます。



どちらかの端を、引っ張りながら、ホッチキスを打ってください。

次に、真ん中を引っ張りながら、止めてください。



次に、もう片方の端を引っ張りながら、止めてください。



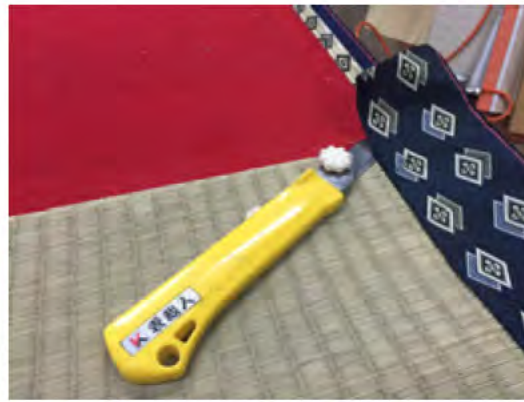
止めていない部分を、引っ張りなが止めてください。



8. ゴザとベニヤ板をひっくり返します。

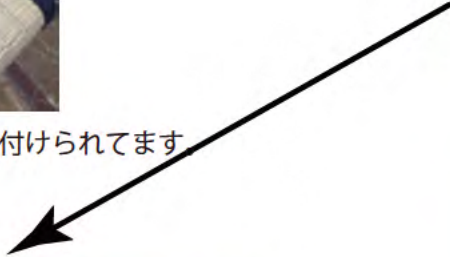


9. 畳へりの加工



カッターをへりとゴザの間に挿入して、少しずつ糸を切ってください。

このように畳へりとゴザが縫い付けられています



へりやゴザを切断しないように、少しずつ糸を切ってください。



側面の糸も半分くらい切ってください。

9. ゴザの固定



矢印方向に、ゴザを強く引っ張りながらホッチキスで固定してください。



これで、ゴザの両端の固定が完了しました。

10. 畳への固定 4隅



白い矢印方向に、強く引っ張ってください。
強く引っ張りますと、畳が動きますので、どなたかに抑えてもらってください。



畳へりを畳側に戻してください。
その際に、引っ張る力が可能な限り緩まないことが望ましいです。
もし、緩んでしまいましたら、黒い矢印方向に再度引っ張ってください。

10。畳への固定 4隅 続き



外側にはみ出している縁を内側に折り込んでください。



10。畳への固定 4隅 続き



折り込んだら、ホッチキスで止めてください。

”10。畳への固定 4隅”の作業を4隅で行ってください。



11. 畳への最終固定

畳をひっくり返してください。畳へりにシワが出ていると思います。
まず下の写真のように、畳へりの側面で隅の少し手前を
矢印方向（斜め下側）に引っ張って、ホッチキスで止めてください。
これを4隅で行ってください。



11. 畳への最終固定 続き

また畳をひっくり返して、裏面を出してください。

矢印方向に引っ張りながら、
ベニヤ板に固定してください。

もう片方のへりも同じように固定してください。

終わりましたら、畳へりにシワが出ていないかを
確認してください。

もし、シワが出ていましたら、タオルとスチームアイロンを
ご用意ください。



タオルは乾いたものでも大丈夫です。アイロンはスチームアイロンをご使用ください。

スチームをたっぷり出しながら、アイロンをかけてください。1箇所に止まらないように、ゆっくりと動かしながらご使用ください。

畳へりはナイロン製ですので、へりにアイロンが直接当たりますと、溶けてしまいます。ご注意ください。